

2020 年度ナショナルディレクター養成プログラム募集要項

下記の通り、2020 年度のナショナルディレクター養成プログラムへの参加者を募集します。別紙の参加申込用紙に必要事項をご記入のうえ、期限内にお申込み下さい。

1. プログラム概要

本プログラムは実際の競技会での実習および2回にわたる筆記試験で構成されています。本プログラムに参加し、認定試験を受けて競技会運営にかかわる実務能力が確認された方は、ナショナルディレクターとして推薦されます。また、本プログラムに参加し、所定の審査に合格すると、セクショナルディレクターの推薦を受けることができます。

なお、ディレクター資格の承認は競技委員会が行います。

<承認までの流れ/日程>

2020 年 4 月 実習開始

2020 年 8 月 22 日(土) 質疑応答セッション：JCBL 事務局を予定

一次試験実施前に、競技会運営に関する質疑応答セッションを開催します。
参加は任意です。

2020 年 9 月 22 日(火・祝) 一次筆記試験：JCBL 事務局を予定

受験するにはクラブディレクターの資格が必要です。実習開始時に資格のない方は、5 月 31 日までにレポートを提出して資格を取得してください。

2017 年度の一次筆記試験合格者は一次筆記試験を免除します。

2021 年 2 月 23 日(火・祝) 二次筆記試験：JCBL 事務局を予定

二次試験は一次試験合格者が対象です。セクショナルディレクターの有資格者であること、および2回以上実習に参加していることが受験条件となります。一次試験合格時点でセクショナルディレクターの資格のない方については、2回の実習後に資格審査を行います。合格してセクショナルディレクター資格を取得された方は、二次試験を受験することができます。

ナショナルディレクターの資格審査では、二次試験および実習時の技能審査結果を総合的に判断して合否を決定します。

<実習について>

プログラム参加者には、4 月から2次試験実施までの間に実習を最低2回受けていただきます。実習では JCBL 主催競技会のアシスタントを務めていただき、ディレクター業務（競技会運営および規則の適用）に関する技能を審査します。アシスタント料として、1 日 1 万円をお支払いします。

<交通費>

実習、質疑応答セッション、筆記試験の会場が、航空機または新幹線等を利用する必要がある遠隔地の場合には、JCBL が交通費の一部を負担します。航空機の場合は 28 日前予約運賃、新幹線の場合は割引チケットの運賃となります。上記以外の交通費は自己負担となります。

2. 応募資格

セクショナルディレクター程度の競技会運営能力のある方で、学生でない方。ただし、応募時に公認クラブディレクター／セクショナルディレクターの資格がなくても可。

3. 申込先

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟 本部事務局

4. 募集期間

2020 年 3 月 31 日まで（必着）

5. その他注意事項

- (1) 筆記試験には、過去の問題と解答が持ち込み不可の資料になります。それ以外の持ち込む資料はご自分で用意して下さい。
- (2) 一次試験、二次試験とも、試験終了後 2 週間以内に、合否と受験者自身の点数を通知します。
- (3) 筆記試験では事前に合格基準点は定められていません。
- (4) 一次試験では、試験実施後に合格基準点を公開します。二次試験は 2 回の実習結果の評価と合わせて総合的に審査するため、筆記試験の合格基準点は公開しません。
- (5) 過去の試験問題を公開しています。希望者は JCBL に請求して下さい。
- (6) JCBL からプログラム参加者への連絡は、原則として電子メールを使用します。添付ファイルを送る場合もありますので、申込用紙に PC のメールアドレスをご記入下さい。電子メールを利用できない方は FAX 番号をご記入下さい。
- (7) プログラム参加者のうち希望者には、「デュプリケートコントラクトブリッジの規則注釈」をお送りします。これは 1987 年版規則の注釈で現行規則と異なる部分もありますが、規則の解釈に関する重要な情報が多数記載されていますので、現行規則と比較しながら学習して下さい。
- (8) クラブディレクター資格のない方には、申込受付後にクラブディレクターレポートを送付します。5 月 31 日までにレポートを提出し、クラブディレクターの資格を取得して下さい。
- (9) ナショナルディレクターに認定された方には、連盟主催競技会等におけるディレクター業務を斡旋します。